



視察報告

立憲・国民・無所属の会さいたま市議団は、さいたま市への政策提言を行うため、
政務活動費を使用した視察を適宜行なっています。
視察を通じ、どんな知見が得られ、
それをさいたま市にどのように反映していくかについて市民の皆様への説明責任を果たすべく、
本ホームページ上で視察報告を公表します。
「会派合流・会派名変更前のデータも公表しています。」

2009/12/03

【民主党 さいたま市議団】群馬県吾妻郡長野原町川原湯地視察報告

群馬県吾妻郡長野原町川原湯地先 八ツ場ダム視察報告

<視察先>八ツ場ダム・河原湯温泉等周辺

<日時>2009年11月10日

<参加者>高柳俊哉、高木真理、高野秀樹、池田麻里、丹羽宝宏



<視察目的>

埼玉県、及びさいたま市の利水・治水に関わる「八ツ場ダム」について、工事の進捗状況や、八ツ場ダム中止による影響を確認し、ダムの必要性を再検討するための材料とする

<視察箇所>

品木ダム、吾妻渓谷周辺、ダムサイトの予定箇所付近、河原湯地区代替地、河原湯温泉街、東京電力取水栓、中学校・小学校代替地、橋梁、国道付け替え工事周辺など

<概要>

八ツ場あしたの会のガイドで、現地を回り確認した。

ダム本体の工事入札は中止されストップしているが、国道、JR、代替地等の工事は進んでいる。

現地は、浅間山の噴火による応桑岩屑なだれが堆積した地盤の上に成り立っており、ダム建設後の影響や、地滑り対策による建設費の増大、代替地の安全性が懸念される。

また、八ツ場ダムの上流にある品木ダムでは、草津白根山や源泉から強酸性の水が流れ込むため、石灰を投入し、水の中性を図っている。

<感想>

現在、さいたま市では湯水時には、地下水の汲み上げ量を増やすことで市民生活への影響を最小限に抑えている。

八ツ場ダムの建設にあたっては、大規模災害の影響や今後の水需要予測、水利権の在り方など、総合的な見地から再検討されるべきであり、本市市民の生活を守るという視点からも、利水を第一に検討していきたい。